

1 タイトル…怪談催眠 取り憑かれ「本当に？」

2
3 ■登場人物の表記の分け方

4 ・語り部さん↓「なしの地の文」

5 ・湯檜曾はるな↓は「」

6 ・亀姫↓姫「」

7 ・××××↓×「」

8 ・男童↓童「」

9
10
11
12 ■目次

13 0…挨拶・注意事項…P 2

14 1…あいさつ＋導入…P 2

15
16
17 2…ドラマ…P 6

18
19
20 3…夢『彼女の痴態』…P 8

21 4…Hパート1 怪異『おーい』…P 10

22
23 5…Hパート2 怪異『本当に』…P 16

24
25 6…ドラマパート男童&解除…P 26

26
27
28

0..挨拶・注意事項

注意事項

この作品は18禁催眠音声です。

18歳未満の方は視聴をおやめください。

またこの音声では目を閉じたり眠りへと誘導する指示があるため、

視聴する際はベッドの上など眠ってしまっても大丈夫な場所でお聴きください。

作品は催眠やホラー、妖怪、心霊現象などの要素を含みますので、

そういったモノが苦手な抵抗があるという方にも視聴はお勧めしません。

以上の注意事項の内容を理解し同意していただける方のみ、

引き続き音声をお聴きください。

1..あいさつ+導入

いらっしやいませ、わたしはあなたを物語の世界へと誘う語り部です。

ふう〜〜〜

あら、煙管はお嫌いでしたか？

この紫煙のゆらめきを見ていると頭がクリアになりとてもリラックスできます。

ふう〜〜〜

ふう〜〜〜

ふう〜〜〜

空っぽの頭と、空っぽの集中力

一片の雑念もない虚無な状態、覚醒状態…

ぼうっとしているのに覚醒とはおかしな事ですね。

嫌煙家の方には理解しがたいかもしれませんが、

愛煙家にとってはこの虚無状態がとてつもなく愛おしいのです。

今日はあなたにもこの虚無状態を味わっていただきます。

さてあなたは怪談やホラーなど、身の毛もよだつ怖いお話は好きですか？

これからあなたをお連れするのはとある曰く付きのドライブインで実際に起きたお話です。

では、雰囲気を出してより楽しんでいただくために…

目隠しを準備してお布団に横になってください。

途中で目を開いてしまった場合は雰囲気が壊れてしまいますから…

1 逃げ出したくても逃げ出せないそんな状況を再現しましょう。
2
3 準備はできましたか？
4 それではお布団に横になって目隠しをして：リラックスしていきましょう。
5 ウフフ：よしよし：いい子いい子。
6
7 ふう〜
8 ふう〜
9 …ウフフ♪煙はお嫌いですか？
10 この煙草の匂い、嗜好品として割り切れれば存外乙なものですよ。
11
12
13 さあ目を閉じてリラックスしていきましょう。
14 煙管は：しばし我慢しましょう。
15 今は物語に集中。
16
17 それでは…
18 目を閉じて全身の力を抜いていきましょう、深く深くリラックスして：
19 今あなたがいるのは現実の世界、そこから物語の中へと深く深く落ちていきます。
20 私の言葉に合わせて深呼吸
21 すって〜、はいて〜、すって〜、はいて〜
22 息を吐くたび体から力が抜けていくのを感じる
23 すって〜、はいて〜、
24 体がふわりふわりとして心地のいい脱力感がしてくるかもしれませんね。
25
26 すって〜
27 息を吸うほど頭の中がぼおとし
28 はいて〜
29 息を吐くのと一緒に、頭の中の雑念も吐き出す
30 すって〜
31 息を吸うほど頭の中がクリアになり
32 はいて〜
33 息を吐くほど、自分の中の余計なものが出ていく
34
35 息を吸うほど頭の中がぼおとし
36 息を吐くのと一緒に、頭の中の雑念も吐き出す
37 息を吸うほど頭の中がクリアになり
38 息を吐くほど、自分の中の余計なものが出ていく
39 息を吸うほど集中力が満ちていき、
40 息を吐くほど、頭の中が空っぽになる
41
42 空っぽの頭と、空っぽの集中力

1 一片の雑念もない虚無な状態、覚醒状態：
2
3 息を吸うのも煙を吸うのも理屈は同じ
4 古い空気を吐き出して、新しい空気を自分の中に入れる
5 老廃物を吐き出して、新鮮な空気を取り入れる
6
7 そうして新しいものを体に入れながら、
8 少しずつ古い自分を捨てるんです。
9
10 すってり、はいてり、すってり、はいてり
11 そのまま自分のペースでリラックスした呼吸を続けてください。
12
13 こうして私が話しかけていると声や言葉が体に染み込んでいく…そんな感覚がしてくるかもしれませんがね。
14 声が体に染み込む、小さなことですが意識してみると本当にそんな気がしてくる。
15 私の声がじんわりとしみ込んでいく。
16 あなたのの中に私の声が溶け込んでいく。
17 力が抜けてふわり、ふわりとしたあなたの心に私の言葉が染み込む。
18
19
20
21 こうして私が話しかける。
22 声をおいかけて
23 段々と物語の中へ
24 深い闇の中へ入っていきましよう
25 さあイメージして
26 夜の森の様に
27 月明りさえ飲み込む
28 深い闇
29 漆黒よりなお深い永久の闇
30 私の声を追いかけて
31 追いかけてっことをしませんか？
32 ほーらこっちですよ
33 こっちこっち
34 足元には気を付けて
35 転んだら
36 ケガをさせていただきますよ
37
38 10
39 カウントがゼロになると
40 9
41 あなたは暗闇に落ちていく
42 8

1 足を踏み外して
2
3 奈落の底へと落ちていく
4
5 底なしの暗闇
6
7 目の前の闇に目を凝らして
8
9 私の声を追いかけて
10
11 鬼さんこちら♪
12
13 こっちですよ♪
14
15 ほらこっちこっち♪
16
17
18 足元の地面がふっと消える
19 突然の浮遊感、背中に感じていたお布団の感覚が消える
20 堕ちる落ちる
21 足を踏み外して落とし穴に落ちるように
22 どこまでも落ちる
23 止まらない、止まらない、どこまでも落ち続ける
24 漆黒の闇に…堕ちていく…
25
26 フフフ♪、それでは物語の世界へ、行ってらっしゃい♪
27
28
29

2…ドラマ…

SE…深夜のしじま・ドライブイン
SE…缶コーヒーを開ける

は「なんだおめーも寝れねえクチか？」

そう声をかけてきた彼女と知り合ったのはほんの3分前。

時刻は深夜、あなたは仮眠をとろうとドライブインへ立ち寄った。

しかしうまく寝付くことが出来ず、

冷えた体を温めるために缶コーヒーを飲もうとしたところを彼女に声をかけられた。

名前は湯檜曾はるな。

どうせ眠れぬのならば、退屈のぎに始めた彼女との雑談。

は「眠れねえ時は一発シコっちまえばいいんだよ」

彼女の竹を割ったようなフランクな口ぶりに思わず話が弾む

は「女だつてマス搔いてスツキリしたら、それで気持ちよくお寝んねさ」

見た目的におそらく元ヤンだろうか、

それゆえか中学男子の様な下品な話も自然と出来てしまう。

は「あたしズリネタにしてシコつて見るか？姫トラのはるなさんだ、きつとキモチーぜ。見ヌキなら高くつくが、妄想だけならただにしといてやるよ、特別だぜ。」

深夜のテンションのせいか、初対面の女性相手の猥談に花が咲く。

は「なあところで兄ちゃん知つつか？このドライブイン、神隠しの噂がある曰く付きなんだぜ。」

彼女が言うにはそのドライブインにはルールがある、

・長居してはいけない

・見つかつてはいけない

・けして答えてはいけない

誰に見つかつてはいけないのか？

は「そいつはアレさ、『うらめしやー』つてやつさ」

は「実はアタイも経験あるんだよ。仮眠ついでにシコつて寝ようかつて時さ、

お気に入りのずりネタでかまし始めてちようど気持ちよくなつてきたときにさ、大きな声で

「見るよ！」つて男の声で言われたのさ。

ゾクッとブルつたがせつかく気持ちよくなつてるのを邪魔されたんでムカつときてな、

覗き野郎はぶつ殺してやろうつて車の外に飛び出たのさ、

もちろん野郎相手でもどつけるようにスパナを持つてな。

と勢よく飛び出したはいいものの外には誰もいやしない、

それどころかドライブインに停まつてる車はあたしのギガだけ、

ここは車無しに来れるような場所じゃないのに：

ブルッと来たねこういう時はとつとと寝ちまつた方が良いからな、

車戻つてちゃんと施錠確認して狸寝入りだ。

シコつたかつて？もちろんシコつたさ。そのあとは気持ちよくお寝んねだ。

怖いのか下品なのか…うやむやにして彼女は自身の乗るトラックの方へと戻っていった。
時計の針はすでに深夜二時を過ぎている。

あなたも自分の車へと戻り仮眠をとることにする。

どっと疲れが押し寄せたように

泥のような眠気があなたをやさしく包み込む。

抗いがたい眠気、抗おうという気さえ起きない。

シートに深くその身を預け、

深く心地の良い眠気に身を任せ、

あなたは深く夢の中へ堕ちていく。

今日はどんな夢を見られるんでしょうか？

そんな期待を携えて眠りの中へ堕ちていきましょ♪

3..夢『彼女の痴態』

うとうと、うとうと

舟をこぐようにユラユラとしたまどろみの中
あなたは夢を見る。

は「ん…ん…あつ、んっ…あ…」

遠くから聞こえる女性の嬌声

甘くて甘くて蕩ける様な女性の喘ぎ声

は「ん…あつヤバツ…んツツツ、あ…きっ…あっ…くんっ♡…んひっ…♡」

押し殺すような喘ぎ声。

声の主は先ほどの彼女。

は「あっ…んはツツツ、あ…いいっ…あっ…くんっ♡…んひっ…♡」

ぼうつとした意識の中でああなたは先ほどの彼女の痴態を夢に見る。
トラックの中で自慰行為にふけるその痴態を想像する。

は「ん…はあっ♡…ん…ふうん♡…はあ…ダメツ…もつと…

ん…来て…ん…はあっ♡」

息を押し殺して、どんどん昂る嬌声

もつと乱れる

乱れる乱れる

は「ん…こっち、こっちだよ♡

ここに、ここにきて、こっちを見て…もつとアタイを見て♡」

痴態は止まらない

は「ん…あー…もつと、もつとだよ、もつと見て♪」

は「んっっ…いくっ…

あはあっ♡もつと、来て…

もつと見てっ

もつと来てっもつと見てっ♡」

夢の中で女性の痴態を思い浮かべ視姦する

鮮明にイメージする。

喘ぎ乱れる彼女をイメージする。

は「あっ…あ…いい♡

あっあっイク！来てるツ…もつと…もつとだよお…クウン…♡」

は「もつと来て♪もつと見てっ♡…もつと、もつとお…」

4…Hパート1 怪異『おーい』

はっとしてあなたは夢から覚める。

夢から覚めたあなた、

何か悪い夢を見た後のような気分の悪い寝覚め

周囲は暗闇が支配する世界。

さっきまでいた車の中ではないどこか違う場所。

×「おーい、おーい」

遠くからかすかに声が聞こえる、

さあ耳を澄ませてみましょう、

何か大事なことを言っているかもしれませんよ。

声に耳を傾けてみて

×「おーいおーい」

誰かを探しているような声。

場所が分からないのか行ったり来たりしている。

×「おーいおーい」

でもどこか変な違和感を感じる。

何か人の温度を感じないような無機質無感情な声

×「あ…みつけた」

×「おーいおーい」

×「おーいおーい、おーいおーい、おーいおーい、おーいおーい、おーいおーい」

声が近づいてくる。

捕まったらどうなるんでしょう？

何かとてもよくない…とてもひどい事をされそうな予感が脳裏をよぎる。

どうしよう、どうしよう、捕まったらどうしよう。

逃げなきゃ、逃げなきゃ逃げなきゃ

さあ一刻も早くこの世界から逃げ出さないと♪

ほらゆっくりとリラックスした呼吸をしましょう。

ゆっくりと深呼吸

吸ってー、吐いてー

私が数字を0から10まで数え上げます。

1 数字が10になるとあなたは夢から覚めてこの世界から逃げ出すことができます。
2 さあ呼吸を落ち着けて、リラックスした呼吸をしましょう。

3
4 1
5 息を吸うたび、強張った体がリラックスしていく
6 2 息を吐くたび、怖い気持ち体が外に出ていくのを感じる
7 3 息を吸うたび気分が落ち着いてくる
8 4
9 気分が落ち着くと、さっきの声が遠ざかっていく気がする
10 5
11 心がおちつく、夜の闇が空けるように光を感じる
12 6
13 明るい明るい太陽のような温かな光を感じる
14 さあここからは一気に行きますよ。
15 さっきまでいた元の世界へと戻りましょう。
16 行きますよ。
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42

姫「本当に？」

1・2・3・4・5・6・7・8・9…

姫「ウフフフフフ♪」

9…8…7…6…5…4…3…2…1…

堕ちる落ちる意識が落ちる

底なしの落とし穴

意識がどこまでも落ちる

さっきの暗闇の世界へと引き戻される

止まらない、止まらない、どこまでも落ち続ける

意識が落ちる、漆黒の闇に…堕ちていく…

イヤだ嫌だ、そんな願いすら暗闇に飲み込まれる

逃げたい逃げたい逃げなくちゃ！

姫「本当に？」

1 0
2
3 あなたは戻ってきた、この深い暗闇が支配する世界へと
4 ぼうつとした意識で周囲に意識を向けてみましょう。

5
6 一筋の光すらない暗闇が帳を降ろし、
7 重い重い夜のしじまがあたりを包み込む。
8 無明の暗闇の世界。

9
10 ウフフ♪
11 暗い闇の中に独りぼっちでいるのは心細いですね
12 でも誰かと一緒にいれば怖くありません。

13 次に声が聞こえたら「こっちだよ」と言ってみましょう。

14
15 先ほど夢で見た彼女の痴態を思い出してください。
16 一人で寂しそうに自分を慰めて、
17 でもあんなに乱れてよがって…

18
19 先ほどの彼女の痴態が頭をよぎる
20 まるで何かに取り付かれたように狂い乱れて

21
22 彼女：はるなは自慰をしながら何かつぶやいていましたね。

23 「こっちだよ」「もっと見て」「もっと来て」

24 寂しさを癒すには誰かと一緒にいるのが一番ですね。

25 誰かと一緒にいるのは…とても気持ちいいモノです♪

26
27 ですから

28 次に声が聞こえたらこう言いますよ。

29 声が聞こえたら、「こっちだよ」…と、言ってみましょう。

30
31 あなたは暗い森で迷子になった子供。

32 泣き出したくて泣き出したくて、

33 誰かに見つけて欲しい、

34 自分では何もできないか弱い存在。

35
36 だから…

37 次に声が聞こえたら「こっちだよ」と言って助けを求めましょう。

38
39 ほら耳を澄ませて、

40 何か聞こえますね？誰かの声が聞こえますね？

41 坊やは上手にさっきの言葉言えますよね？

42

1 ×「おーいおーい」

2 遠くから声が聞こえる。誰かを探しているように行ったり来たり…

3 さあ声が聞こえました。

4 あなたの場所を教えてください。

5 私の合図でさっきの言葉を行ってみましょう。

6 3…2…1…さあ♪

7 リスナー「こっちだよ」

8 一回だけでは聞き逃すかもしれません。

9 何度も呼んで助けを求めないと、

10 誰かに見つけてもらえるのは…とても気持ちがいいですよ。

11 ×「おーいおーい」

12 ほら声が聞こえる、まだあなたを見つけられなくて周囲をうろろいています。

13 「こっちだよ」…もつと言って見つけてもらいましょう。

14 リスナー「こっちだよ」

15 何度も言って助けを求めましょう。

16 ×「おーい おーい おーい おーい おーい おーい」

17 声があるあなたを見つけたみたいです。

18 嬉しいですね、気持ちいですね。

19 声に答えるのが気持ちいい♡

20 見つけてもらえるのはキモチイイ♡

21 じゃああなたももっと呼んで、あの声と一緒にしましょう。

22 一緒になって気持ち良くなりましょう。

23 ×「おーい おーい おーい おーい おーい おーい」

24 声が近づいてくる、近づいてくる。

25 もうあなたは見つかってしまった、

26 逃げられない逃げられない、もう逃げられない。

27 だって、あの声を呼び寄せているのはあなた自身なんですから♡

28 声が近づくたびに気持ち良さが強くなる。

29 もう逃げられない。

30 声を意識するたびに快感が強まる。

31 ×「「見てるよ！」」

1 背筋にゾクツとした電流が走る。
2 見つかってしまった
3 もう逃げられない

4
5 声に答えるのは気持ちいいですね♡
6 見つけてもらえるのがキモチイイですね♡
7

8 ×「おーい おーい おーい おーい おーい おーい おーい おーい」
9

10 見つけてもらえて嬉しい

11 もっと見て欲しい

12 もっと見られたい

13 もっと見て欲しい

14 見られるのはとてもキモチイイ

15

16 見つけて、見つけて！

17 もっと自分を見てほしい♡

18 見られたい♪

19 もっと見られて気持ちよくなりたい♡
20

21 ほらもっと自分の存在をアピールして見つけてもらいましょう
22 見られるのは気持ちいですよ♪

23

24 ×「おーい おーい おーい おーい おーい おーい」
25

26 ×「「見てるよ！」」
27

28 見られるのは気持ちいいですね

29 もっと見られたいですね

30 見て欲しい見て欲しい

31 もっと見て！
32

33 ×「おーい おーい おーい おーい おーい おーい」
34

35 ×「「見てるよ！」」
36

37 声に見つかるごあなたの意識は溶けていく

38 声に支配され溶けていく

39 見つかって、支配 されて、…それがすごく気持ちいい
40

41 ×「おーい おーい おーい おーい おーい おーい」
42

1 × 「「見てるよ！」」

2 見つかって気持ちいですね♪

3 声に支配されて気持ちいですね♡

4 もっと見つけてもらいましょう、もっと見られて支配されましょう♡

5 いわばこれはかくれんぼ

6 見つかるたび声との結びつきが強くなる♡

7 かくれんぼを楽しみましょう。

8 妖しく歪なかくれんぼ♪

9 ウフフフフ♪

10 × 「おーい おーい おーい おーい おーい おーい」

11 × 「「見てるよ！」」

12

13

14

15

16

17

18

1 5：Hパート2 怪異『本当に』

2
3 は「おーい、おーい」
4 声がする

5 は「おーい、おーい」
6 さつきとは違う声

7
8 は「はあはあはあ、お願い助けて」

9 先程の彼女の声だ

10 は「どこにいるの、教えて、おーい、おーい」

11 何か助けを求めているようです。

12 声をだしてこっちの場所を教えてあげましょう。

13
14 は「おーい、おーい」

15 ほら、”こっちだよ”と言って場所を教えてあげないと♪

16 は「おーい、おーい」

17 彼女の呼びかけに答えましょう。

18
19 は「おーい、おーい、助けて、どこにいるの？」

20 “こっちだよ、こっちだよ”

21 声に答えるのは気持ちいいですね

22
23 は「おーい、おーい」

24 彼女があなたを見つけたみたいです。

25 は「おーい、おーい」

26 は「おーい、おーい」

27 声が近づいてくる…

28
29 SE：ドンドンドン(車のドアをたたく)

30 は「はあはあはあ、お願い助けて、お願い中に入れて」

31 ほら、彼女を中に招き入れてあげましょう。

32 “こっちだよ、こっちだよ”彼女を中に招き入れてあげましょう。

33 声が聞こえたら：返答するんですよ♪

34 声に答えるのが気持ちいいですね。

35 は「お願い助けて、お願い中に入れて」

36 “こっちだよ、こっちだよ”彼女を助けてあげましょう♪

37 一緒になって気持ちよくなります♡

38
39 は「お願い助けて、お願い中に入れて」

40 彼女を中へ：招き入れましょう。

41 ほら、”こっちだよ”

42 は「はあはあ、助けて助けて」

1 うふふ、声が聞こえますね♪
2 声が聞こえたら…どうするんですたっけ？
3 そうですね、“こっちだよ、こっちだよ”
4 自分の存在を教えてあげましょう。

5
6 は「おーい、おーい」
7 あなたの存在を彼女に教えてあげましょう♪

8
9 は「おーい、おーい」
10 これはかくれんぼ♪

11 あなたのあのあなたを見つけてもらって
12 彼女に見つかったらあなたは心も体も彼女のモノになる♡
13 でも見つけてもらえるのが…気持ちいいですよね♡

14
15 は「おーい、おーい」

16 “こっちだよ、こっちだよ”、声に答えるのは気持ちいですね。
17 は「おーい、おーい、中に入れてよ」

18 ほら、声に答えて、彼女をもっとあなたの中に入れてましょう。
19 あなたのまだ残っている…あなたの自意識の場所を教えて、
20 あなたのあのあなたの存在を彼女に見つけてもらいましょ♡

21 は「おーい、おーい」
22 は「「見てるよ！」」

23
24 ウフフ♪

25 気持ちいですか？それとも怖いですか？
26 リラックスリラックス♪

27 さあ、心を落ち着けて深呼吸をしましょう。
28 すっつ〜

29 息を吸うたびあなたのあの彼女が大きくなる。

30
31 はいて〜

32 息を吐くたび
33 あなたの大切なものが抜け出ていく

34
35 すっつ〜

36 息を吸うたびあなたのあの彼女が大きくなる。

37
38 はいて〜

39 逃げたい逃げたい
40 息を吐き出すたびその感情すらも流れ出る

41
42 すっつ〜

1 息を吸うたびあなたの中の彼女が大きくなる。

2 はいて〜

3 息を吐くたび

4 あなたの大切なものが抜けていく

5 カウントが0になるとあなたと彼女の結びつきが強くなり

6 あなたの心は、彼女に支配される。

7 10、9、8、7、6、5、4、3、2、1…

8 姫「本当に？」

9 0…

10 あなたの意識は消えて、心と体いっぱい彼女の感情が満ちる。

11 は「ハイレタハイレタハイレタハイレタハイレタハイレタハイレタハイレタハイレタ」

12 うれしいですね♪

13 気持ちいですね♪

14 声に答えて、見つけてもらえて、

15 …中に入ってもらえるのはすごく…気持ちいいですね♡

16 あなたは彼女に支配された♡

17 彼女に乗っ取られるのはとても幸せ♡

18 いまのあなたは心も体も彼女の思うがまま

19 #####

20 あなたの手が勝手に動き出す。

21 胸や股間全身の性感帯を貪るようにまさぐる。

22 は「ん…ん…あっ、んっ…あ…」

23 ほら彼女の感情が流れ込む♪

24 彼女の気持ちいい感覚が流れ込む♡

25 手が勝手にあなたの体をまさぐる

26 性感帯や弱いところを刺激する。

27 は「ん…あっヤバッ…んツツツ、あ…きっ…あっ…くんっ♡…んひっ…♡」

28 押し殺すような喘ぎ声。

29 先ほど夢に見た彼女の痴態。

30 あなたの体を彼女が弄ぶ♡

31 あなたの体は彼女のモノ♡

1 は「あっ…んはツツツ、あ…いいっ…あっ…くんっ♡…んひっ…♡」
2 あなたの自分が自分の意思とは関係なく全身をまさぐる。
3 だってあなたの体はもう、彼女のモノ♡
4 触られているのは胸ですか？乳首ですか？それとも敏感な股間ですか？
5 うふふ♪あなたはもうされるがまま♡

6
7 は「ん…はあっ♡…ん…ふうん♡…はあ…ダメッ…もつと…
8 ん…来て…ん…はあっ♡」

9 息を押し殺して、どんどん昂る嬌声
10 もつと乱れる
11 乱れる乱れる
12 両手が全身をいやらしく弄ぶ。

13
14 ぼうつとした意識の中、彼女があなたの手を使い体を弄ぶ。
15 だってあなたの体は、彼女のモノ♡
16 どこを触られたいですか？
17 どこをいじって欲しいですか？
18

19 は「ん…こっち、こっちだよ♡
20 ここに、ここにきて、こっちを見て…もつとアタイを見て♡」

21
22 触って欲しいところを彼女に伝えて、
23 彼女に責めてもらいましょう♡

24
25 ”こっちだよ”と言っている間だけ、
26 自分の意志であなたの触りたい所とところをいじっていいですよ。
27 ちゃんとおねだりしてあなたの弱いところをアピールしましょう。

28
29 弱いところを彼女に教えてあげましょう♪
30 触って欲しいところを彼女に教えてあげましょう♪
31 あなたの存在を彼女に教えてあげましょう♡
32 まあ…言わなかったとしても、彼女の意志であなたの体はなぶられ続けますが…
33

34 ほら”こっちだよ、こっちだよ”
35 声に答えるのは気持ちいですね。

36
37 は「ん…あー…もつと、もつとだよ、もつと見て♪」

38
39 あなたの弱いところを彼女に教えて、彼女に差し出して、
40 あなたのすべてを彼女に捧げましょう。
41 だって、あなたの体はもう…彼女のモノ♡

42 姫「本当に？」

1 あなたの弱いところを彼女に教えて、彼女に支配してもらいましょう
2 彼女に、見つけてもらいましょう♡
3 ほら”こっちだよ、こっちだよ”
4 声に答えるのは気持ちいいですね♡
5 見つけてもらえるのは気持ちいいですよね♡
6
7

8 は「見てるよ！」
9

10 彼女に見つかるたび快感が走る
11 彼女の快感が流れ込む♡
12

13 は「んっっ…いくっ…」

14 あはあっ♡もっど、来て…

15 もっと見てっ

16 もっと来てっもっど見てっ♡」

17
18 は「[[「見てるよ!」]]」
19

20 彼女に見つかるたびに快感が膨らむ♡

21 彼女に見つかるたびにあなたの弱いところが彼女に支配される♡
22

23 は「あっ…あ…いい♡

24 あっあっイク!来てるッ…もっど…もっどだよお…クウン…♡」
25

26 彼女に支配されるたび、あなたの体の主導権は彼女のモノになる♡
27

28 は「もっど来て♪もっど見てっ♡…もっど、もっどお…」
29

30 さあカウントダウンをしてあげます。

31 カウントが0になると、彼女が…あなたの体で絶頂を迎えます。

32 あなたの体が彼女の快感で支配されます。

33 0になるとあなたのすべてが、彼女に支配されます。

34 そうなったらあなたの意識は消え去り、完全に彼女の快感で塗りつぶされます。
35

36 覚悟はできましたか?
37 いきますよ?

38
39
40
41
42

彼女の快感があなたに流れ込む

9

1 イっても終わらない、これは彼女の快感。
2 あなたの心も体も彼女のモノ

3
4 0、0

5 イクたびあなたの意識は擦り切れ、心と体の主導権は彼女に上書きされる。
6 全てを彼女に支配され、乗っ取られる。

7
8 #####
9 #####
10 #####

11 ”こっちだよ”と言うたび、
12 彼女があなたの体を撫でまわす。
13 ”こっちだよ”と言える内は、
14 自分の意志でああなたの触りたい所とところを触る事ができる。

15
16 は「見てるよ！」
17 彼女に見つけられるとどうなるんですか？
18 そう、彼女に支配される♡
19 あなたの身も心も、弱いところも、
20 すべてを彼女に支配されて、彼女に奪われる。
21 まあ、言わなくても彼女の意志でああなたの体はなぶられ続けますが…

22
23 は「ハイレタ。」
24 は「ハイレタ、ハイレタ、ハイレタハイレタハイレタ」

25
26 彼女に入ってもらえてうれしいですね。
27 入れてうれしいですね。
28 うれしいのなら口に出して、言葉にしましょう♪

29 “入れた入れた♪”
30 彼女の幸福はあなたの幸福。
31 入ってもらうのが…気持ちいいんですよ

32
33 あなたの意識で”こっちだよ”と言える内は、
34 まだあなたはあなたでいられます。
35 じゅ…

36 は「見てるよ！」
37
38 彼女に見つかるたびにあなたの意識は薄れていく
39 “こっちだよ”というのがキモチイイ♡
40 見つけてもらえて気持ちいい
41 入ってもらえるのがキモチイイ
42

1 “こっちだよ”というたび、興奮が高まる♪
2 “こっちだよ”というたび快感で胸がいっぱいになる♪
3 “こっちだよ”というたび頭の中が彼女でいっぱいになる♪
4 は「見るよ！」

5 あなたの全てが彼女に支配される♡

6
7
8 は「ハイレタ、ハイレタ、ハイレタハイレタハイレタ」

9
10 だけど、あなたの中で彼女が大きくなるたび。

11 “こっちだよ”とすら言う余裕はなくなる。

12 “ハイレタハイレタ♪”口が勝手に言葉を紡ぐ

13 歪で不気味な言葉を口が勝手に囁きだす。

14 “ハイレタハイレタ♪”

15
16 入ってもらえてキモチイいですね♪

17 入ってもらえて嬉しいですね♪

18 “ハイレタ”というのは気持ちいですね♡

19
20 “入れた”と言うのはあなたの意志ですか？

21 それとも彼女に、支配されているからですか？

22 どちらでも良いですね、

23 だって彼女に入られるのはとても気持ちいいですから

24
25 “ハイレタ”というたび、興奮が高まる。

26 “ハイレタ”というたび快感で胸がいっぱいになる♡

27 “ハイレタ”というたび、心と体が彼女でいっぱいになる♡

28
29
30 は「ハイレタ、ハイレタ、ハイレタハイレタハイレタ」

31 入れて気持ちいですか？

32 入られるのが気持ちいですか？

33 彼女の快感が流れ込んで気持ちいですか？

34 じゃあもっとハイレタと言って気持ちよくなりましょう♡

35
36 彼女に入ってもらえて嬉しいんですよ。

37 遠慮なんてしなくてもいいですよ、

38 だって遠慮するあなたはどう…どこにもいないんですから♡

39 全身を彼女に支配されて口が勝手に言葉を紡ぐ…

40 ハイレタハイレタ♪

41
42 は「ハイレタ、ハイレタ、ハイレタハイレタハイレタ」

1 6…ドラマパート男童&解除：

2 童「そこなお方、道にでも迷われましたか？

3 この城はかくも広い、旅人の止まり木にはもったいない。

4 ところで城主様にはすでにお会いになられたか？

5 …はて、この城主様の名をご存じないとは、

6 姫路の長壁姫と猪苗代の亀姫を知らずや、覚えや覚えろ亀姫様のお姿を

7 ひと ふた み 飛び こののたり」

8 姫「本当に？」

9 SE…本を閉じる音

10 ふう〜

11 ふう〜

12 これで物語は終わりです。

13 どうですか楽しんでいただけましたか？

14 狐か貉にでもつままれたようなお顔ですね。

15 キョトンと呆けて、とてもいいお顔していますよ、あなた。

16 …そう、あなたに話しているんですよ…ウフフ♪

17 取り憑かれるのは怖かったですか？それとも気持ち良かったですか？

18 …ウフフ、御愁傷様です♪

19 ふう〜

20 ふう〜

21 それではあなたにかけた催眠を解いていきましょう。

22 先程まであなたは意識すべてを覆いつくすように支配され、

23 彼女に…取り憑かれていたのですからね♪

24 これから数字を数え上げます。

25 数字が10になったら

26 あなたにかかっているすべての催眠は解け、

27 あなたに取り憑いた彼女はきれいさっぱり出ていきます。

28 あなたは物語の世界から現実の世界へと戻ってきます。

29 それではいきますよ

30 イメージして

31 1、

32 2

1 肌に空気の冷たさを感じる。
2 深呼吸で空気を体内に取り込み、
3 体の中の悪いものを吐き出す。

4
5
6 3、4

7
8 空気が美味しい、体に新鮮な酸素が行き渡る。
9 体に活力がみなぎる。

10 暗い海の底から浮かび上がるように
11 ぼうつとしていた意識がハッキリとする。
12 思考が冴えわたる。

13
14 5、6、7

15
16 自分の体と心を隅々まで感じて、
17 あなたがあなた自身をしつかりと認識する。
18 あなたはあなたそれ以外の何物でもない。
19 自分を理解すると、不思議な自信と活力がみなぎる。
20

21 ここからは一気にいきます

22
23 8、9、10

24
25 SE…パンツ

26
27 おかえりなさい。

28 ここは現実の世界、あなたは物語の世界から帰ってきた。

29
30 いかがでしたか？

31 物語の世界は楽しんでいただけましたか？

32
33 また物語の世界へ入りたくなったら…

34 ウフフ♪また入られたらなくなったら、
35 いつでもお越しください。

36
37 それまではしばしのお別れ、
38 再び会えるのを楽しみにしています。
39

40 それでは失礼します、ウフフ♪

41
42

END